



## 向井ちひろ市議会通信 NO.35

### ゆるやかにつながりあえるまちづくり

私は、だれもが自分らしく幸せで豊かな人生をいき、子どもから高齢者まで多様な人たちがゆるやかにつながりつづけるまちをめざして政策提案を行っています。

丹波篠山市では、人口が減少し、少子高齢化が進んでいます。また、人口は減少していますが、世帯数は増え続けており、ひとり暮らし世帯などの孤立化、孤独化が心配されます。そのような中において、コロナ禍で閉じられていた集いの場を再構築し、さまざまな市民がかかわりを持てる場を創造するための施策が必要です。

ワクワク農村モデル事業は、自治会の中で「子どもが少ない」「農業の担い手がない」「空き家が増えた」などの心配事を皆で話し合い、少しでも解決に導くための取組みで、令和2年度からモデル的にはじまりました。今年度は市内の全ての自治会を対象にして「ワクワク農村創生補助金」を創出しています。(予算額860万円) 現在、集落内での世代間交流、移住者との交流、外国人住民との交流など、さまざまな取組みが行われています。

(問合せ先/地域振興課・各支所)

ふれあい・いきいきサロン事業は、ひとり暮らしや家に閉じこもりがちな高齢者等が気軽に集える場をつくるための事業です。令和5年度からは、対象団体を自治会、まちづくり協議会に加えてボランティア団体にも広げ、運営支援期間も2年間限定から継続的な支援にとより良くなっています。(備品購入費:初年度のみ5万円、運営補助金:参加人数により1万円から4万円) 今年度は48団体が取組んでおられます。

(問合せ先/社会福祉協議会)

私は、だれもが幸せで安心して暮らし続けられる地域共生のまちづくりを推進していきます。

### 皆さまから寄せられた声にとりこんでいます

\*親が育休中(1歳児・保留児童)は、(小学生の兄弟は)児童クラブの利用ができない。

夏休み中だけでも利用できないのか? (子育て世代)

→保育園、こども園の預かり保育の利用はできますが、児童クラブは利用できません。

夏休みも同様です。(こども未来部)

児童クラブの現状や課題点等を調査研究し、より良い施策を提案していきます。

\*マイナンバーカードを取得していないが、保険証(国民健康保険)が使えなくなるのか？

マイナンバーは今後も取得しないつもりだ。(市民)

→令和6年8月から1年間は現在と同様の保険証を使用できますが、その後はマイナ保険証になります。マイナンバーを取得していない方には受給者証を発行するので、従来通りの保険診療が受けられます。(医療保険課)

\*環境整備のための要望書を市長宛に出したが、1年以上経過しても返事がない。

どうなっているのか？ (自治会長)

→担当課で確認し、回答を伝えていただきました。

### 総会や地域での催し等に出席しました

・市医師会 懇談会	・三田後川上線期成同盟会 小柿・後川分科会
・国際理解センター 総会	・特定非営利活動法人みちくさ 通常総会
・日置地区まちづくり協議会 総会	・後川地区郷づくり協議会 総会
・消防団ポンプ操法大会	・野々垣親和会敬老会
・たきまつり	・地域おこし協力隊交流フェスタ 2024
・くもべふるさと夏まつり	・関係人口フォーラム(京丹波町)
・ゆたかな教育の創造をめざす丹波地区会議総会 講演会	

\*この他にも地域での集まりや会合に参加させて頂いています。

ぜひ、小さな集まりにお声かけ頂き、皆さまの思いをお聞かせください。

\*どんなことでもお気軽にご相談ください。

#向井ちひろ #向井ちひろと千の声 SNSで日々の活動を発信しています。



向井ちひろ (丹波篠山市議会議員 副議長 会派「福祉と教育」)

### 千の声 No.35

2024年8月発行(偶数月第1土曜発行)

向井ちひろと千の声

丹波篠山市宮ノ前 315 番地 3

☎ 079-555-2625

携帯 090-7550-7596

HP mukaichihiro.org

メール info@mukaichihiro.org

\*「千の声」郵送希望の方はご連絡下さい。

